



平成25年度

第5回みみらんどセミナー

きこえシリーズ③

☆ 実施日時 ☆ 平成25年7月22日(月) 10:00~11:00

☆ テーマ ☆ 「FM補聴システムを知ろう~リオン社製~」

☆ 講師 ☆ (株)リオン 仙台営業所 大洞 良孝 様

第5回みみらんどセミナーの概要をご報告します。

参加者は、福島分校の教員13名でした。

前半はFM補聴システムについての講義を聞きました。FM電波の変遷には歴史があり、80年代の40MHz帯個人用FM補聴システムから、電波法の改正により95年からは75MHz帯に変わり、2007年から現在の169MHz帯FM補聴システムが展開されるようになりました。自立支援法対応タイプ



のS5(送信機)とJ5(受信機)には専用充電電池を使用しますが、市販の単4電池でも代用可能な点が特徴です。充電電池は約8時間充電で8時間程度使用可能ですが、年1回の交換が必要です。また、混線を避けるため、チャンネル(周波数)対応表を利用して、なるべく離れたチャンネルで使用したり、他社製と対応させたりして使用してください。FM補聴システムを使用するにあたり、まずは幼児・児童の聴力検査により聴力の状態を知ることと補聴器特性が合っているかを確認することが前提です。受信機のボリュームは1~32までありますが、やはりこの2つが満たされた上で調節することが大切です。

後半は実際にFM補聴システムの視聴体験をしました。送信機のマイクで話す側と受信機と補聴器を装着して聞く側とに分かれ、交代で行いました。遠くに離れて小さい声で話してみたり、いつも授業で出している少し大きめの声で話してみたりして、音の大きさや聴き心地を確認し合いました。



首にかけた受信機のループから補聴器を離すと電波を受信しないため聞こえなくなることもよく分かりました。ループは、ただ首から細長く垂らしている時と比べて、肩幅まで広げた時の方が音がよく聞こえることも分かりました。参加した教員からは、「子どもたちはこんな風に聞こえていたのか。」「今までは声が大きすぎていたかもしれない。」「これからは今日の体験を生かして使いたい。」などの感想が聞かれ、充実した研修会となりました。